

第6回 学術知共創プロジェクトワークショップ

～分断社会の超克～

テーマ代表者：稲場圭信 大阪大学大学院人間科学研究科教授

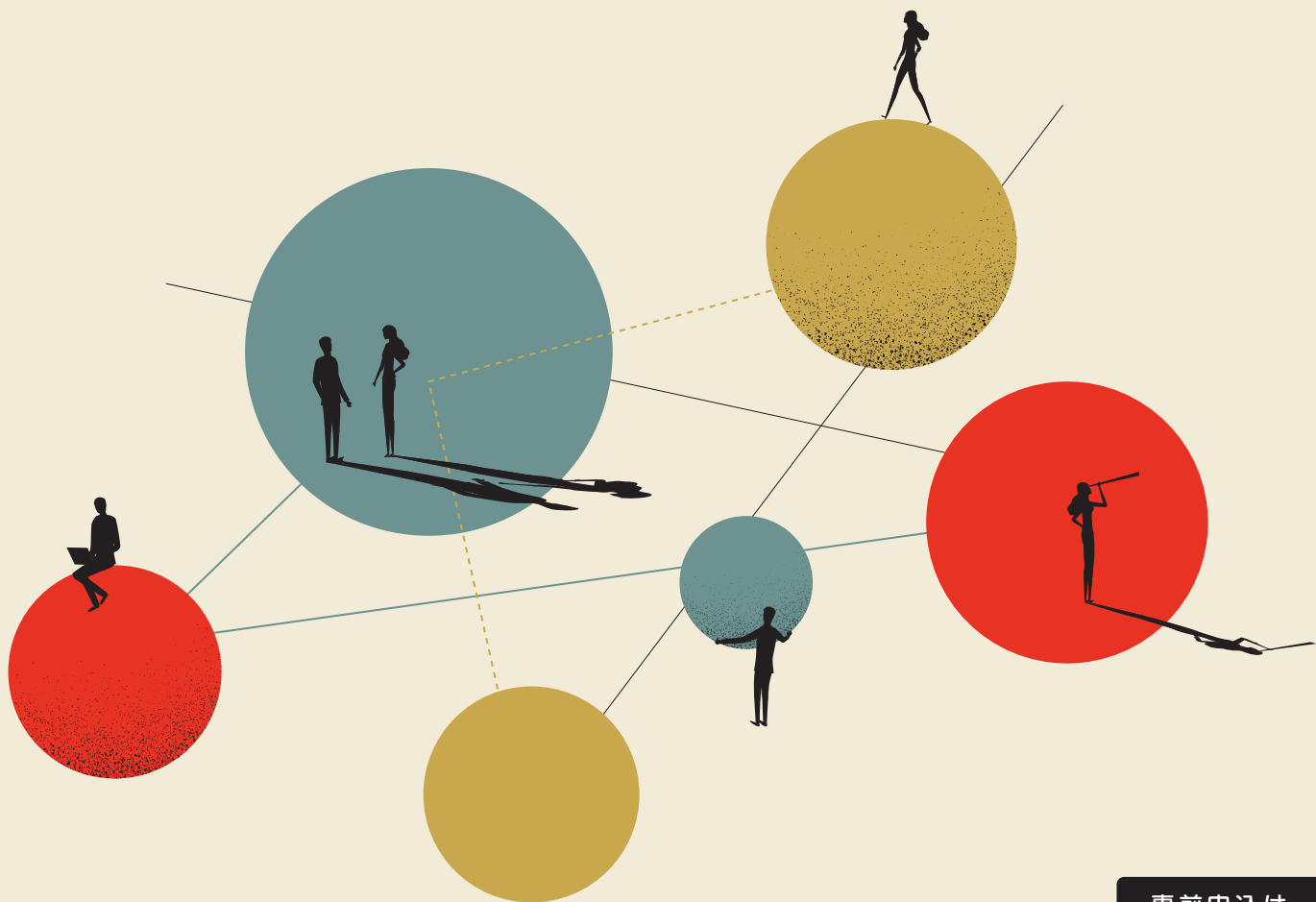


人文学・社会科学を軸とした
学術知共創プロジェクト



大阪大学
OSAKA UNIVERSITY

専門知をめぐる格差



2021.09.13 Mon. 13:00-16:00

●オンライン開催 ●参加費：無料 ●定員：参加者20名程度／視聴者制限なし

文化と科学の分断が、環境問題や災害対応などの問題を適切に認識することを困難にし、解決策の有効性を減ずる原因になっている。科学技術が生み出す知には、普遍性がひとつの特徴としてある。しかし、その知の生産は、国、地域、組織の資源量に大きく依存するために、専門知のイニシアティブをめぐる分断や格差が生じている。この文化と科学の分断および専門知をめぐる格差の問題を「いのち」とは何かに立ち返って問い直し、分断社会の超克から共生社会の方途を模索する。



社会ソリューションイニシアティブ (SSI)
SOCIAL SOLUTION INITIATIVE

■主催 | 社会ソリューションイニシアティブ(SSI) ak-pj@ml.office.osaka-u.ac.jp

事前申込は
こちらから

▶ 参加者用 ◀
募集期間：8/5~9/6



<https://form.run/@gakujututi-ws06-1>

▶ 視聴者用 ◀
募集期間：8/5~9/9



<https://form.run/@gakujututi-ws06-2>

第6回 学術知共創プロジェクトワークショップ

分断社会の超克 ―専門知をめぐる格差―

文化と科学の分断および専門知をめぐる格差の問題を「いのち」とは何かに立ち返って問い直し、多様な専門分野の知をもとに交わされる議論を通じて分断社会の超克から共生社会の方途を模索します。

■テーマ代表者：稲場圭信 大阪大学大学院人間科学研究科教授

1969年生まれ。専門は、共生学、宗教社会学。主な研究テーマは、防災・災害時協力と宗教、利他主義・市民社会論、ソーシャル・キャピタルとしての宗教、宗教の社会貢献。大阪大学「社会ソリューションイニシアティブ(SSI)」兼任、基幹プロジェクト「地域資源とITによる減災・見守りシステムの構築」研究代表。学校、公民館、寺、神社、自治会といった「地域資源」と「科学技術」のコラボレーションによる新たな減災・見守りシステムの構築に取り組む。



パネルディスカッション | パネリスト



森田 敦郎 Morita Atsuro

大阪大学大学院人間科学研究科 教授

専門は科学技術の人類学、デザイン人類学。タイを舞台にして、土着の機械技術と国際的な廃棄物循環の関係、洪水制御インフラにおける灌漑システム、水文科学、伝統的な土地利用の相互作用などを研究してきた。現在は、デジタルファブリケーションを用いて循環経済を目指すDIY運動の研究と実践を行っている。



標葉 隆馬 Shineha Ryuma

大阪大学社会技術共創研究センター 准教授

京都大学農学部応用生命科学科卒業、同大学院生命科学研究所博士課程修了。博士(生命科学)。専門は、科学社会学・科学技術政策論。科学技術をめぐる倫理的・法的・社会的課題(ELSI)や社会の中での語られ方の研究、科学技術政策・研究評価など、複数の研究プロジェクトに取り組んでいる。著書『責任ある科学技術ガバナンス概論』(ナカニシヤ出版 2020)ほか、論文多数。



杉浦 万正 Sugiura Kazumasa

共和メディカル株式会社 代表取締役社長
グローバルビレッジ津雲台まちづくり協議会 代表理事

共和メディカルは地域密着の医療グループ(医薬品卸、薬局、訪問看護、ケアプランセンター、みんなの保健室、飲食等を運営)。日本が直面する超高齢社会到来をふまえ、地域包括ケアや地域共生社会実現の一助を担いつつ、地域全体の健康増進に医療者がどう貢献していくべきなのか、試行錯誤を続けている。

プログラム

- 13:00 WS案内 小出直史 大阪大学SSI 特任准教授
- 13:05 開会挨拶
 - ・堂目卓生 大阪大学SSI長/プロジェクトマネージャー
 - ・稲場圭信 大阪大学大学院人間科学研究科教授
- 13:15 フラッシュトーク
- 13:50 休憩(10分)
- 14:00 パネルディスカッション
 - ・稲場圭信
 - ・杉浦万正 共和メディカル株式会社 代表取締役社長
 - ・森田敦郎 大阪大学大学院人間科学研究科教授
 - ・標葉隆馬 大阪大学社会技術共創研究センター准教授
- 14:45 休憩(15分)
- 15:00 グループディスカッション
 - ・森田敦郎 大阪大学大学院人間科学研究科教授
 - ・標葉隆馬 大阪大学社会技術共創研究センター准教授
 - ・八木絵香 大阪大学社会技術共創研究センター教授
- 15:45 全体討論
- 16:00 閉会挨拶 稲場圭信

グループディスカッション | モデレーター



八木 絵香 Yagi Ekou

大阪大学社会技術共創研究センター 教授

テーマ:「医療・科学技術と民衆の知恵」

1972年生まれ。専門は、科学技術社会論、ヒューマンファクター研究。民間シンクタンクにおいて、災害心理学研究に従事。ヒューマンファクターの観点からの事故分析・対策立案に携わる。現在は、社会的にコンフリクトのある科学技術の問題について、意見や利害の異なる人同士が対話・協働する場の企画、運営、評価を研究している。

■ 森田 敦郎 Morita Atsuro

大阪大学大学院人間科学研究科 教授

テーマ:「気候変動時代の科学と社会」

■ 標葉 隆馬 Shineha Ryuma

大阪大学社会技術共創研究センター 准教授

テーマ:「科学技術の南北問題」



文部科学省委託事業

人文学・社会科学を軸とした
学術知共創プロジェクト



社会ソリューションイニシアティブ (SSI)
SOCIAL SOLUTION INITIATIVE

大阪大学
OSAKA UNIVERSITY